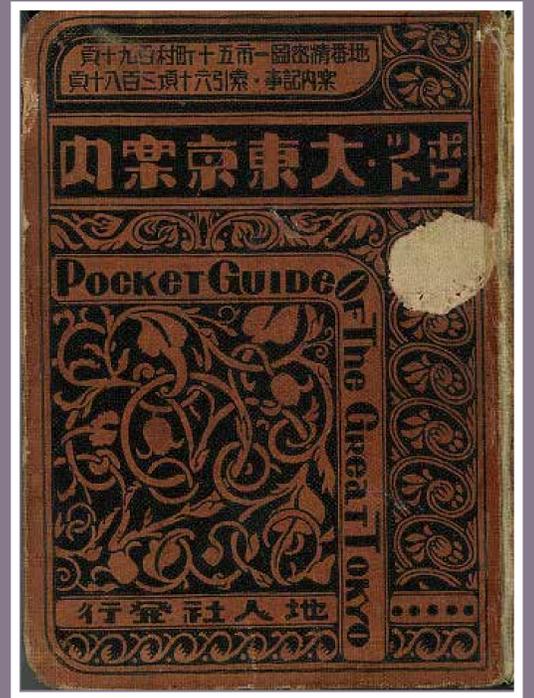


ポケット大東京案内

本書には、東京とその周辺の地域を98に分割した詳細な地図などが掲載されています。下図は、当センターがある飯田橋周辺の



昭和6年頃の地図です。当時は「飯田町」という地名で、現在も残っている飯田橋駅のほかに、飯田町駅という駅があったことが分かります。「大東京の交通上最重の役割」をなしていた省線電車(鉄道省が管理していた電車)で、最初に開通したのが飯田町-中野間でした。



昭和6(1931)年発行

電車自動車行程早わかり 新大東京区別町名交通便覧

本書は、ポケットサイズの交通案内ハンドブックです。昭和15年当時の東京には35の区があり、本書には35区それぞれの町名と最



寄りの東京市営電車の停留所、停留所からの距離が一覧で記載されています。付属の路線図(左)と合わせて見ることで、目的地までの経路を調べることができます。



昭和15(1940)年発行

